

1890

北東方面艦隊
第十二航空艦隊

戰時日誌

北東方面艦隊司令部
第十二航空艦隊司令部

北東方面艦隊機密第八號ノニ七四

十一月十五日送付

自昭和十九年十月一日
至同年十月三十一日

0532

- 一 経過
- 二 人員ノ現状
- 三 令達報告等
- 四 作戦経過概要

目次

(目次終)

經過

(4) 敵情

自昭和十九年十月一日北東方面艦隊
至同年十月三十一日第十航空艦隊戰時日誌

(1) 比島奪回ニ虎視眈々タリシ敵ハ十日第三十八機動部隊
主カヲ以テ我南西諸島ヲ空襲シツツ漸次南下シ十二日
降十六日ニ至ル間甚大ナル被害ヲモ顧ズ台湾及比島方面
ヲ連爆セリ超ヘテ十七日機動部隊ノ一部ヲシテ「カーニラ
バル」諸島方面ニ索制作戦ヲ續行セシムルト共ニ有カナル
艦隊援護ノ下攻畧部隊ヲ以テ十九日レイテ島ニ上陸ヲ敢
行シ爾後橋頭堡ノ擴大ニ狂奔シツツアリ

(2) 北太平洋方面通信謀報ニ依レバ中旬以降海軍航空兵力ハ

續々本國方面へ歸投シアルモノ、如キモ陸上機ヲ以テスル北
千島空襲ハ依然頻繁ナリ

(四) 我軍ノ狀況

(一) 十日沖繩方面ニ敵機動部隊來襲シ同日「基地航空部隊
捷一號捷ニ號作戰警戒」發令次テ十二日「同作戰」發
動セラレ聯合艦隊基地航空部隊ハ敵艦隊ヲ台灣沖
ニ捕捉之ニ潰滅的痛打ヲ加ヘタリ然ルニ敵ハ不敵ニモ十
七日有力ナル攻畧部隊ヲ以テ菲島中部ニ來攻スルニ至リ
遂ニ十八日「捷一號作戰」發動セラレタリ聯合艦隊ハ全
力ヲ擧ゲテ比島東方洋上海空ヨリ猛攻ヲ加ヘ來攻敵
艦隊ニ大打撃ヲ與ヘタルモ我方亦相當ノ損害アリテ之
ヲ全滅セシムルニ至ラス目下比島「レイテ」島方面ニ於テ戰
鬪ヲ續行中ナリ

- (二) 北東方面ニ於テ十日以降第五十航空戦隊ヲ第七基地航空部隊次テ第六基地航空部隊ニ編入又三日以後第四五三航空部隊ヲシテ作戰ニ關シ海上護衛司令長官、指揮ヲ受ケシメラレ夫々南九州、台湾比島方面ニ轉進セシメラレタルヲ以テ當部隊ハ專ラ海上交通作戰ノ遂行及戰備増強ニ邁進スルト共二十八日以降捷號作戰兵力部署ニ轉換大警備部隊ヲ併セ指揮シ益北東方面ノ防備ヲ強化シ敵ノ同方面ヨリスル索制策動ニ備ヘアリ
- (三) 敵ハ益潜水艦船ヲ強化シ我主要海上輸送線ニ猛攻ヲ加ヘツツアリテ寸毫モ情勢緩和スルニ至ラズ今ヤ萬難ヲ排シ對潛方策ノ飛躍的改善ヲ喫緊トスル情況ニ在リ
- (ハ) 作戰指導
- (イ) 十日「基地航空部隊捷一號捷二號作戰警戒」發令サレ

タルヲ以テ五十一航空戦隊兵力ヲ南方ニ轉進セシメJAF長官
次デJAF長官ノ指揮ヲ受ケテ作戰セシム

(二)十八日捷一號作戰發動セラレタルヲ以テ聯合艦隊電令
作三八一號ニ基キ大警部隊ヲ併セ指揮ス

(三)五十一航空戦隊南方轉進秘匿ノ爲牽制作戰通信ヲ
廢止ス

(四)當隊戰時編制中主ナル変更次ノ如シ

一日附第十二航空艦隊ヲ第五十一航空戦隊四五二空

北東海軍航空隊^{JAF}輸送機隊ヲ編成セラル

同日附百三十三號特設輸送艦ヲ戰時編制ヨリ除カル

三日附四五二空ヲシテ作戰ニ關シ海上護衛司令長官ノ指
揮ヲ受ケケシム

十日附第七〇二飛行隊ヲ七〇二空ヨリ除キ七五三空ニ又七〇二空

「偵三〇一飛行隊」ヲ加ヘニ、三空ヨリ戦斗三〇三飛行隊ヲ除カル

同日附帝洋丸ヲ戦時編制ヨリ除カル

十二日附白鳳丸ヲ千防部隊ニ加フ

(二) 麾下艦船部隊ノ行動

(一) 内海西部ニ於テ訓練待機中ナリシ第五艦隊ハ十八日

附南西方面部隊ニ編入セラレ比島方面ニ於テ活躍中ナリ

(二) 第五航空戦隊ハ十日以降南方ニ轉進シ目下捷一號作戦部隊トシテ作戦中

(三) 第四五航空隊ハ三日以後作戦ニ關シ海上護衛司令長官ノ指揮ヲ受ケ館山又ハ台湾東港方面ニ於テ對潜作戦ニ從事中ナリ

(四) 其他各本來ノ任務ヲ續行シアリ

(木) 艦隊区分

方		東		北	
隊艦空航二十第		隊艦五第		區分	
附	第 北東海軍航空隊 第十二航空艦隊輸送機隊	附	第 第五十航空戰隊	那智	足柄
属	第 第四五二海軍航空隊	属	第 第七〇一海軍航空隊 第二〇三海軍航空隊	第七驅逐隊 第六驅逐隊 第二土驅逐隊	
魚雷調整班	第 三三三三三三三三		日帝丸 帝洋丸 (附日附) 白崎 第亨天津丸		

面 艦 隊	
附 属	千島方面根據地隊
第百三十四號特設輸送艦 <small>(除十月附)</small>	第一驅逐隊 國後八丈 第五十一警備隊 第五十二警備隊 第五十三警備隊 第三魚雷艇隊 占守通信隊 第十五輸送隊 第五氣象隊

合 联							區分 指揮官 區分 指揮官 區分 指揮官	一 軍 隊 區 分 及 配 備	
方 東 北									
艦 面 方 東 北									
隊 部 空 航 地 基 二 第									
官 長 令 司 隊 艦 空 航 二 十 第							區分 指揮官	區分 指揮官	
附									
属							VAB	區分 指揮官	
							△ S/P		
雷 第 三 十 六 魚 雷 調 整 班	雷 第 三 十 三 魚 雷 調 整 班	雷 第 三 十 二 魚 雷 調 整 班	雷 第 二 十 魚 雷 調 整 班	12A 輸 送 機 隊	北 東 空	四 五 二 空	七 〇 一 空	二 〇 三 空	兵 力
美 幌	三 澤	片 岡	千 歲	道	海	北	島	千	配 備
七 航 空 基 地 設 營 協 力 同 管 理 整 備	六 地 上 作 戰 協 力	五 對 潛 哨 戒 及 敵 潛 水 艦 擊 滅	四 對 空 哨 戒 及 敵 來 襲 機 擊 滅	三 哨 戒	輸 送 船 擊 滅	一 A 〇 方 面 敵 機 艦 擊 滅	隊 捕 捉 擊 滅	敵 攻 各 部 隊 機 動 部	主 要 任 務

		艦		隊	
		艦		隊	
		司令		隊長官	
附					
属		千島防備部隊			
		千根			
輸送艦 (十月附除)	第一三四号特設	日帝丸 (吾除)	第五氣象隊	第一四六	第一四四
			氣象	第一二二	第九防空
				白鳳丸	白崎
				快鳳丸	四監視艇
					千根
				千根司令官所定	
			運輸補給	一 地上及海面防備 二 海上交通保護 三 敵潛掃蕩擊滅 四 運輸補給 五 要地設法協力 六 通信謀報	

二人員ノ現状

(1)司令部

(一)職員官氏名

職	主務	官	氏名	記	事
司令長官		中將	後藤英次		
參謀長		少將	一宮義之		
機關長		大佐	伊勢貞良		
參謀	首席	司	藤日南一		
軍医長		医大佐	村上倫吉		
主計長		主大佐	山田涉		
參謀	施設	大佐	櫻井金藏	任大佐(一五)	
副官		中佐	竹村一郎		
參謀	航空	同	島田航一		

海軍功績調査部長殿

北東方面艦隊機密第八號、三七八

自昭和十九年十一月一日
至昭和十九年十一月三十日

北東方面艦隊
第十二航空艦隊
戦時日誌

北東方面艦隊司令部
第十二航空艦隊司令部

一 経過目次

二 人員現状

三 令達報告等

四 作戦経過概要

(目次終)

一 経過

自昭和十九年十一月一日北東方面艦隊戦時日誌
至昭和十九年十一月三十日第十一航空艦隊

(イ) 敵情

(一) 暹羅「レイテ」島方面ニ上陸セル敵ハ基地迄ニ母艦航空部隊全
カヲ撃ケテ比島全域ヲ連爆スルト共ニ活潑ニ「レイテ」島増援
作戦ヲ續行シアリ

(二) 「マリアナ」諸島方面ノ敵ハ二十四日以降「レイテ」島ヲ以テ殆ト連日出撃
帝都周辺ヲ偵察シ又ハ爆撃シツツアリ

(三) 北東方面ニ於テハ二十一日ハ「レイテ」島十數分ニ且リ敵軽快艦艇數
隻ヲ以テ濃霧ニ乘シ松輪島ニ來襲砲撃セリ

(ロ) 我陣状況

(一) 在比島帝國海陸軍部隊ハ連日同方面ニ激闘中ニシテ捷一號

作戰、完遂ニ努メツツアリ

(三)海陸軍部隊ハ數次ニ亘リ長驅「マリアナ」方面敵空軍基地ニ對シ先制奇襲攻撃ヲ敢行セリ

(四)作戰指導

(一)北東方面艦隊司令部ハ千歳基地ニ在リテ全般作戰指導中特ニ明春以降於ケル敵大舉反攻ニ備ヘ警戒ヲ嚴ニシツツ極力戦力ノ維持増強ニ努メアリ

(二)當艦隊戦時編制中主ナル変更次ノ如シ

一、五日附日帝丸ヲ第五艦隊補給部隊ヨリ除キ大警部隊ニ編入セラル

二、十日附第百三十四號輸送艦ヲ戦時編制ヨリ除カル

三、十五日附第五十二航空戦隊ヲ解隊シ第一〇三空第七〇二空ヲ第二十五航空戦隊ニ編入戦闘八三飛行隊ヲ第一〇三

(三) 麾下部隊ノ行動

(一) 第五艦隊ハ依然南西方面部隊指揮官ノ指揮ヲ承ケ作戰中ナリ

(二) 第五十一航空戦隊ハ第六基地航空部隊指揮官ノ指揮下ニ作戰中ナリシガ十五日附解隊セラレ同戦隊飛行機隊ヲ以テ第二十五航空戦隊ヲ編制シ第三航空艦隊ニ編入セラル

空ヨリ除キ第一五三空ニ戦闘ハ五二飛行隊ヲ第一三二空ヨリ除キ北東空ニ又北東空ニ艦攻ヲ編入セラル

又同日附第二十二戦隊第六駆逐隊ヲ戦時編制ヨリ除カル

又第三十駆逐隊ヲ第二水雷戦隊ニ編入セラル

又二十日附第三十戦隊ヲ聯合艦隊附属ヨリ除キ第五艦隊

ニ又第一水雷戦隊ヲ戦時編制ヨリ除キ第一第二十二

第三十駆逐隊ヲ第二水雷戦隊ニ編入セラル

東		北	
航	隊	艦	隊
第十	第五十一航空戰隊 (十音附解隊)	附屬	第二十戰隊(十五日附除カ)
第四五	第二〇三海軍航空隊 (航空戰隊ニ編入)	日帝丸(五日附除カ)白崎第二號天洋丸	那智(十音附解附屬)足柄(十五日附解ニ編入)
	第七二海軍航空隊(十五日附解ニ編入)		阿武隈 第七驅逐隊 第六驅逐隊(十五日附除カ) 第三驅逐隊

(木) 艦隊區分

區

分

(三) 第四五二航空隊ハ館山又ハ台湾方面ニ在リテ海上護衛總司令長官ノ指揮ヲ承ケ對潛作戰ニ從事中ナリ

(四) 其他ノ部隊ハ從來ノ任務ヲ續行中

6590

方 面 艦 隊

附 属	二島方面根據地隊	空 艦 隊	
		附 属	
第百三十四特設輸送艦(十日附除カ)	第五氣象隊	北東海軍航空隊	12AF輸送機隊
第十五輸送隊	占守通信隊	第一驅逐隊	第三第十第十三第十六魚雷調整班
第三魚雷艇隊	第五十一警備隊	國後八丈	
第五十三警備隊			

0550										區 分	區 分	指 揮 官	區 分	指 揮 官	兵 力	配 備	主 要 任 務
合 聯																	
面 方 東 北																	
隊 艦 面 方 東 北																	
隊 部 空 航 地 基 = 第										指 揮 官	區 分	指 揮 官	兵 力	配 備	主 要 任 務		
官 長 令 司 隊 艦 空 航 = 十 第																	
島 千										指 揮 官	區 分	指 揮 官	兵 力	配 備	主 要 任 務		
快 鳳 丸																	
千 根										指 揮 官	區 分	指 揮 官	兵 力	配 備	主 要 任 務		
四 監 視 艇																	
千 根										指 揮 官	區 分	指 揮 官	兵 力	配 備	主 要 任 務		
美 幌																	
千 根										指 揮 官	區 分	指 揮 官	兵 力	配 備	主 要 任 務		
三 澤																	
千 根										指 揮 官	區 分	指 揮 官	兵 力	配 備	主 要 任 務		
片 岡																	
千 根										指 揮 官	區 分	指 揮 官	兵 力	配 備	主 要 任 務		
千 歲																	
道 海 北 島 千										指 揮 官	區 分	指 揮 官	兵 力	配 備	主 要 任 務		
一 敵 攻 擊 部 隊 機 動 部 隊																	
二 捕 捉 擊 滅										指 揮 官	區 分	指 揮 官	兵 力	配 備	主 要 任 務		
三 北 方 面 敵 航 空 機 艦 擊 滅																	
四 輸 送 船 擊 滅										指 揮 官	區 分	指 揮 官	兵 力	配 備	主 要 任 務		
五 三 哨 戒																	
六 對 空 哨 戒 及 敵 來 襲 機 擊 滅										指 揮 官	區 分	指 揮 官	兵 力	配 備	主 要 任 務		
七 五 對 潛 哨 戒 及 敵 潛 水 艦 擊 滅																	
八 六 地 上 作 戰 協 力										指 揮 官	區 分	指 揮 官	兵 力	配 備	主 要 任 務		
九 七 航 空 基 地 設 營 協 力																	
十 同 管 理 整 備										指 揮 官	區 分	指 揮 官	兵 力	配 備	主 要 任 務		
一 地 上 三 海 面 防 備																	
二 海 上 交 通 保 護										指 揮 官	區 分	指 揮 官	兵 力	配 備	主 要 任 務		
三 海 上 交 通 保 護																	

(一) 軍隊區分及配備

艦 隊	
部 隊	
司令官	
附 屬	防備部隊
	<div style="text-align: center;"> $\frac{\Delta}{根干}$ </div> 自白鳳丸 第九防空隊 第一〇〇〇 第一〇〇〇 第一〇〇〇
輸送艦 (十日附除九) 第三百三十四號	第九氣象隊 日九(五日附除九)
運輸補給	氣象 運輸補給
司令官所定	
三敵潛掃蕩擊滅 四要地設營協力 五運輸補給 六通信謀報	

人員現狀

(1)司令部

(2)職員官氏名

職	主務	官	氏名	記	事
司令長官		中將	後藤英次		
參謀長		少將	一宮義之		
機關長		大佐	伊勢貞良		
參謀	首席	同	藤田菊一		
軍醫長		医大佐	村上倫吉		
主計長		主大佐	山田涉		
參謀	施設	大佐	櫻井金藏	横濱附(三八)退任(三四)	
副官		中佐	竹村一郎		
參謀	航空	同	島田航一		

第十二航空艦隊機密第八号ノ一三七

自昭和十九年十二月一日
至昭和十九年十二月三十一日

第十二航空艦隊戦時日誌

第十二航空艦隊司令部

目次

- 一 經過
- 二 人員現狀
- 三 令達報告等
- 四 作戰經過概要

(目次終)

自昭和十九年十二月一日
至昭和十九年十二月五日
第十二航空艦隊戦時日誌

一 經過

(イ) 敵情

- (一) 「レイテ」島地上作戦膠着化ニ焦慮セル敵ハ十三日來有カナル
空母部隊護衛ノ下大輸送船團ヲ「スール」海ニ進入セシメ
我航空部隊ノ猛撃ヲ排除シツツ十五日「ミン」ド「ロ」島南西端
「サン」ホセ附近ニ攻畧部隊（兵力約一個師團）ヲ揚陸セシメ
目下同方面航空基地設備ニ努メツツアリ
- (二) 敵ハ我戦力ノ根拠一絶クントシ潜水部隊ノ大部ヲ以テ我
輸送動脈ニ猛攻ヲ加ハソツアリ
- (三) 通信諜報ニ依レバ「ア」リ「エ」ト「シ」ヤン「」方面ノ敵航空兵力ハ其ノ一

部ヲ本國へ歸救セシメアルモノノ如ク天候ノ悪化ト相俟テ
千島方面ニ對スル來襲回數ハ激減セリ

(四) 我軍ノ狀況

比島方面ノ我海陸軍部隊ハ全カヲ擧ゲテ猛反撃ヲ轉ジ隨所
ニ騎敵ヲ擊滅シツツアリ

(ハ) 作戰指導要領

(一) 第十二航空艦隊司令部ハ依然北海道千歳航空基地ニ在
リテ全般作戰指導ヲ中特ニ

ム戰闘ハ五一飛行隊ヲ以テ空蘭防空茲ニ對潛作戰ニ任ゼ
シムト共ニ南方轉進ニ備ヘ銳意夜間訓練ニ從事セシ

メタリ

ス千島方面防備ノ完壁ヲ期シ萬難ヲ排シテ海上交通保
護作戰ヲ強行セリ

(二) 通信謀報ニ據ルハ敵ハ十二月八日開戦記念日ヲ期シ各方面ニ策動ヲ企圖シアル兆顯著ナリシヲ以テ六日第一警戒配備ヲ令セルモ其ノ後著変ナク十日同警戒ヲ解除セリ

(三) 雷艦隊戦時編制中主ナル変更次ノ如シ
 十二月五日附北東方面艦隊ヲ戦時編制ヨリ除カレ第十二航空艦隊ヲ聯合艦隊ニ直屬セシメラル又第五艦隊ヲ南西方面艦隊ニ編入シ千島方面根據地隊及第五氣象隊ヲ第十二航空艦隊ニ編入セラル

十二月二十五日附第一駆逐隊ヲ千島方面根據地隊ヨリ除キ聯合艦隊ニ附屬セシメラル
 又芝罘ヲ第一海上防衛隊ヲ占守、擇捉ヲ第一海上護衛艦隊ヨリ除キ千島方面根據地隊ニ編入セラル

(三) 麾下部隊ノ行動作戦

- (一) 菲島方面ニ於テ作戰中ノ第五艦隊ハ五日北東方面艦隊ヨリ除カレ南西方面艦隊ニ編入セラレタリ
- (二) 第四五航空隊ハ依然海上護衛總司令長官ノ指揮下ニ在リテ對潛作戰ニ從事中
- (三) 其ノ他ノ部隊ハ從來ノ任務ヲ續行シツツアリ

面 方 東 北		(木)艦隊區分
隊艦空航二十第 (GF/直屬ト丸)	隊艦五第 (2日附GF編入)	
附 屬	北東海軍航空隊 輸送機隊	足柄
第一驅逐隊 二十五日附GF二附屬 セシメラル	第二十第 第二十三第 第二十六魚雷調整班	分
國後 八丈	第三十戰隊 五鈴 第三十驅逐隊 第五十二驅逐隊 第三十九海防艦 第四十三海防艦 第九十三海軍航空	第三十三驅逐隊 第四十三驅逐隊 第三十三號海防艦 第三十號海防艦 第三十三海軍航空

(五日附HTF解隊) 艦 隊	
附	千島方面根據地隊
属	笠戸占守擇捉(二十五日附IAFニ編入セラル)
	第五十一警備隊
	第五十二警備隊
	第五十三警備隊
	第三魚雷艇隊
	占守通信隊
	第十五輸送隊
	第五氣象隊

合 聯						區 分	(一) 軍隊區分及配備	
面 方 東 北						指揮官		
司 隊 艦 面 方 東 北 (5日附12AF長官ト丸)						區分		
千 隊 部 空 航 地 基 二 第 (五日附削除)						指揮官		
官 長 令 司 隊 艦 空 航 二 十 第 (2日附削除)						兵 力		
千 根	第 三 十 六	第 二 十 三	第 二 十 二	雷 調 整 班	第 二 十 魚	12AF 輸 送 機 隊	北 東 空	四 五 二 空
十	美 幌	三 澤	片 岡	千 歳	北 海 道	千 島	配 備	主 要 任 務
一 地 上 三 海 面 防 備	整 備	七 航 空 基 地 設 營 協 力 同 管 理	六 地 上 作 戰 協 力	五 對 潛 哨 戒 及 敵 潛 水 艦 擊 滅	四 對 空 哨 戒 及 敵 飛 機 擊 滅	三 對 空 擊 滅	二 擊 滅	一 敵 攻 略 部 隊 機 動 部 隊 捕 捉

	艦
	隊
	部
	令 長 官
附	島 防 備 部 隊
屬	<p style="text-align: center;">△</p> <p style="text-align: center;">根 干</p>
第五氣象隊	第四監視艇隊 快鳳丸 白崎 白鳳丸 第九防空隊 第二一〇 第一四四 第一四六
氣	根 司 令 官 所 定
象	一 海上交通保護 二 敵潛掃蕩擊滅 三 要地設營協力 四 運輸補給 五 通信諜報 六

8990

海軍少佐 岡田 啓 氏
第十一航空艦隊機密第七號ノ二

自昭和二十年一月一日
至同 年一月三十一日

第十一航空艦隊戦時日誌

第十一航空艦隊司令部



- 一 經過
- 二 人員、現狀
- 三 令達報告等
- 四 參考
- 五 (1) 寫真
作戰經過概要

(目次)

(目次終)

経過

(1) 敵情

自昭和二十年一月一日
至同年一月三十一日
第十二航空艦隊戦時日誌

(一) レイテ「ミンドロ」島ノ航空基地ヲ獲得セル敵ハ一擧ニ呂宋島ヲ奪回セントシテ有カナル機動部隊ヲ以テ台湾茲ニ南西諸島ヲ制圧シツ南支那海ヘ侵入シ我南方補給路ヲ遮断スルト共ニ呂宋島西岸「リングエン」方面ニ攻畧部隊ヲ揚陸所在^後軍ト激戦中ナリ下旬敵ハ更ニ「スピック」湾及「バタンガス」方面ニ夫々上陸及降下シ中部平原南下部隊ニ相策應シテ「マニラ」ニ向ケ進撃中ナリ

(二) 「アリュートシヤン」方面ノ敵ハ比島攻勢ニ呼應シテ我ヲ北方ニ

牽制セント企圖セルモノ如ク六日一五三〇頃輕快艦艇數隻ヲ以テ幌筵島武藏地区ヲ砲撃セリ

(四) 我軍ノ狀況

(一) 比島方面所在我海陸軍部隊ハ隨所ニ敵ヲ邀撃シ勇戰敢鬪中ナリ

(二) 聯合艦隊ハ陸軍部隊ト緊密ナル協同ノ下呂宋島戰ト併行シ銳意後方要線ノ防備ヲ強化シ以テ敵ノ次期來攻竝ニ我反撃作戰ニ備アリ

(三) 海上護衛總隊ハ其ノ全カヲ以テ南方輸送作戰ニ從事中

(ハ) 作戰指導要領

(一) 戰鬪八五一及第一驅逐隊ハ上旬夫々台灣及南西太平洋方面へ轉進セリ

第土航空艦隊司令部、北海道千歳基地ニ在リテ作戦準備、完壁ヲ期シ戦力ノ培養茲ニ向上ニ精進シ次期作戦ニ備ヘアリ

(二) 當方面海上結氷期ニ入リシヲ以テ中旬以降千島方面航行船團ヲシテ冬期航路ヲ採ラシム

(三) 月中敵機ノ來襲狀況茲ニ戦果次ノ如シ

來襲日數延十日來襲機數延六十機以上戦果(確認シ得タルモノノミ)撃墜一機撃破六機

(四) 當艦隊戦時編制中主ナル変更次ノ如シ
十一月一日附

戦闘八五一飛行隊ヲ北東海軍航空隊ヨリ除キ第一五三航空隊へ又戦闘八〇四飛行隊ヲ第一五三航空隊ヨリ除キ北東海軍航空隊ニ編入セラル

(水)艦隊区分

2.同日附第四五三海軍航空隊ヲ解隊セラル

(三)麾下部隊ノ行動
千防部隊及北東海軍航空隊ハ夫々從來ノ任務續行中
ナリ

第二十		北東海軍航空隊 第十二航空艦隊輸送機隊	區
千島方面根據地隊			
國後、八丈 笠戸、占守、擇捉 第五十一警備隊 第五十二警備隊		分	
第五十三警備隊			

聯		区分 指揮官	兵 力	配 備	主 要 任 務
東	北				
第十		区分 指揮官	北 東 空	千 歲 島	敵 没 器 部 隊 機 動 部 隊 捕 獲 擊 滅
附					
第 一 魚 雷 調 整 班	第 二 魚 雷 調 整 班	輸 送 機 隊	北 海 道	三 哨 戒	二 四 方 面 敵 航 空 機 艦 輸 送 船 擊 滅
片 岡	片 岡			四 對 空 哨 戒 及 敵 來 襲 機 擊 滅	

(ハ)軍隊区分及配備

隊 艦 空 航	
附 屬	
第 二 第 三 第 五 氣 象 隊	第 五 十 三 警 備 隊 第 三 魚 雷 艇 隊 占 守 通 信 隊 第 十 五 輸 送 隊
第 二 第 三 第 五 魚 雷 調 整 班	

合 艦 隊		
方 面 部 隊		
二 航 空 艦 隊 司 令 長 官		
千 島 防 備 部 隊		屬
<p style="text-align: center;">P 千 根</p>		
千 根	第 四 監 視 艦 隊	第 三 魚 雷 調 整 班
快 鳳 丸	第 四 監 視 艦 隊	第 五 氣 象 隊
笠 戶 占 守 攔 艇	第 四 監 視 艦 隊	美 幌
白 鳳 丸	第 四 監 視 艦 隊	三 沢
第 八 九 防 空 隊	第 四 監 視 艦 隊	三 沢
第 三 防 空 隊	第 四 監 視 艦 隊	美 幌
第 四 防 空 隊	第 四 監 視 艦 隊	美 幌
第 一 四 六 防 空 隊	第 四 監 視 艦 隊	美 幌
千 根 司 令 官 所 定		千 歲
一 地 上 三 海 面 防 備 二 海 上 交 通 保 護 三 敵 潛 掃 蕩 擊 滅 四 要 地 設 營 協 力 五 運 輸 補 給 六 通 信 諜 報		七 航 空 基 地 設 營 協 力 管 理 整 備 八 對 潛 消 滅 及 敵 潛 水 艦 擊 滅 九 地 上 作 戰 協 力 十 氣 象

海軍省 航空部 航空隊

軍極秘

第十二航空艦隊機密第七號ノ三

自昭和二十年二月一日
至昭和二十年二月二十日

三月二十日

第十二航空艦隊戦時日誌

第十二航空艦隊司令部

0372

- (目次)
- 一 経過
 - 二 人員ノ現状
 - 三 令達報告等
 - 四 作戦経過概要

(目次終)

2

自昭和二十年二月一日
至昭和二十年二月二十八日
第十二航空艦隊戰時日誌

一 經過

(1) 敵情

(一) 中旬敵ハ有力ナル機動部隊ヲ以テ関東方面ヲ連爆シ所在
我航空兵力斃手滅ヲ企圖スルト共ニ米第五艦隊掩護
下攻畧部隊ヲ硫黄島ニソ陸セシメ目下全島我守備
部隊ト激戰ヲ展開中ナリ

(二) 北東方面ニ於テハ十九日一八三〇頃ヨリ約十数分ニ亘リ
敵輕快艦艇數隻ヲ以テ幌筵島武藏地区ヲ砲撃セリ

(四) 我軍狀況

(一) 我硫黄島守備隊ハ敵制空海権下ニ在リテ三個師ニ

3

及敵之陸部隊ヲ邀撃シ、靱強極マル、戰鬥ヲ續行シ、敵ノ
 心膽ヲ震駭セシムト共ニ我航空部隊並ニ潜水部隊亦全
 島周辺ニ敵艦艇ヲ捕捉攻撃シ、大戦果ヲ擧ゲアリ
 (二) 敵ノ我南號輸送作戰妨害ハ益熾烈化シ、傾向ニテ
 我方亦對潛作戰強化ニ一段ノ努力ヲ傾注シ、克ク從
 來ニ見ザル戦果ヲ收メ得ルモ敵ノ犠牲ヲ顧ミザル猛攻ニ
 我方ノ被害亦輕視スベカラザルモアリ

ハ) 作戰指導要領

- (一) 十五日附第十三航空艦隊司令長官、大警長官兼第百三
 航空艦長官親補ニ伴ヒ長官所在地ヲ一時大湊警備府
 ニ変更スルモ第十三航空艦隊司令部ハ第一千歳基地ニ
 在リテ全般作戰ヲ指導中ナリ
- (二) 聯合艦隊電令作第五一七號ニ依リ十五日附第十三航空

艦隊司令長官ハ作戰ニ関シ大湊警備府司令長官ヲ指揮セシメラル

(三)十九日夕刻敵ハ輕快艦艇數隻ヲ以テ武藏地区ニ艦砲射撃ヲ加ヘ來レルヲ以テ今日ニヨリニニ〇〇迄陸軍第一飛行師團隸下戰鬥機四機ヲシテ該敵ヲ索敵致撃手セシメタルモ戰果不明ナリ

(四)月中ノ千島方面敵機ノ來襲狀況竝ニ戰果

來襲延十二回

來襲延機數

B-24
B-25
及
B-34

三十五機以上

戰果撃破一機

(五)當艦隊戰時編制中主ナル變更次ノ如シ

八日附第四監視艦隊ヲ第三十二戰隊ニ復歸セシメラル

三十日附第五十七警備隊ヲ編制シ千島方面根據地隊ニ

5

第二十航空艦

編入セラル

(三) 麾下部隊ノ行動

各部隊共ニ夫々從來ノ任務續行中ナリ

(ホ) 艦隊区分

区分

北東海軍航空隊

第十二航空艦隊輸送機隊

千島方面根據地隊

國後八丈

笠戸占守擇捉

第五十一警備隊

第五十二警備隊

第五十三警備隊

第三魚雷艇隊

第五十七警備隊(三丁目)

軍隊区分及配備

聯		区
東 北		分
二 十 第		指 揮 官
附		区 分 指 揮 官
兵		兵
力		力
配 備 主 要 任 務		配 備 主 要 任 務
北 東 空	千 島	一 敵 攻 擊 部 隊 機 動 部 隊 捕 捉 擊 滅
北 海 道	千 歳	二 四 方 面 敵 航 空 機 艦 輸 送 船 擊 滅
第 二 十 魚 雷 調 整 班	三 哨 戒	三 哨 戒
第 二 魚 雷 調 整 班	片 岡	四 对 空 哨 戒 敵 來 襲 機 擊 滅
第 三 魚 雷 調 整 班	三 澤	五 对 潜 哨 戒 及 敵 潜 水 艦 擊 滅
第 三 魚 雷 調 整 班	美 幌	六 地 上 作 戰 協 力
航空基地設営協力管理整備		航空基地設営協力管理整備

隊	
附	
兵	
第 十 五 輸 送 隊	止 守 通 信 隊
第 五 氣 象 隊	第 三 十 三 第 三 十 六 魚 雷 調 整 班

合							第五氣象隊 兼 氣象	
艦								
部								
面								
方								
航空艦隊司令官								
千島防備部隊								
<div style="text-align: center;"> P 千根 </div>								
第四防空隊	第二防空隊	第八九防空隊	白鳳丸	千島占守揮提	白崎	快鳳丸	第四監視隊	千根
千根司令官所定								
一 地上並海面防備 二 海上交通保護 三 敵潛掃蕩擊滅 四 要地設営協力 五 運輸補給 六 通信諜報								

6490

第十二航空艦隊戦時日誌

第十二航空艦隊司令部

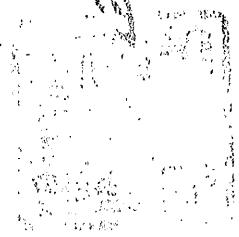


自昭和二十年四月一日
至同 年四月三十日

海軍省航空部

第十二航空艦隊機密第七號

五月二十日



0530

- 一 経過
- 二 人員現状
- 三 令達報告等
- 四 作戦経過概要

(目次)

(目次終)

自昭和二十年四月一日
至同年四月三十日

第十三航空艦隊戰時日誌

一 経過

(一) 敵情

(1) 敵の相次ぐ我猛攻に依り甚大ナル損害ヲ蒙リソツモ強引ニ
沖繩本島ヲ奪取セントシテ引續キ兵力増強ニ狂奔中

(2) 北東方面ニ於テハ大象海象好轉ト相俟ツテ敵ノ潛
水艦ヲ以テスル我海上交通破壊作戰ハ漸次活潑化セ

ントスル趨勢ニテリ

(二) 我軍ノ状況

(1) 聯合艦隊ハ指揮下海陸軍航空部隊迄ニ潜水部隊
ノ全力ヲ擧ゲテ南西諸島方面ノ敵艦船ニ對シ數次ニ

直ニ挺身総攻撃ヲ敢行中ニシテ所ニ陸上部隊又之
策應殊死奮戦ニ隨所ニ敵ノ進攻企圖ヲ破摧シツツ

四月八日大海令第三八號ニ依リ「決」號作戰ニ於ケル
聯合艦隊各隊ノ準據スベキ作戰要領令示セラレ

三) 作戰指導要領

大海令第三八號ニ基キ四月中旬ヨリ千島方面防
備中ノ千根陸上兵力ノ大部ヲ大湊北海道方面ニ轉

進セシメ新編聯合特別陸戰隊ニ編入中ナリ

北東方面運航船舶ノ輻輳ニ敵潛ノ跳梁ニ鑑ミ大
艦及第十二航空艦隊指揮下航空兵力ヲ以テ鋭意對

潛作戰ニ從事中

四) 四月中當方面敵潛ニ依リ船舶ノ被害ニ戰果

艦隊区分

区

分

四月十九日 快鳳丸 大成丸 沈没 戦果不明

(1) 本月中 千島方面 敵機 來襲 状況 茲ニ 戦果 被害

延回数 十回 延機數 B-24 B-26 B-34 計三十五機以上

撃破 B-24 一機 被害 飛行機 中波二機 小破一機

(2) 尚艦隊 戦時 編制中 之ナル 変更 次ノ 如シ

四月十日 附 國後 八丈 笠戸 占守 擇捉 ヲ 千根部

隊ヨリ 除キ 第一 四戰隊ニ 編入 セラル

(四) 麾下 部隊ノ 行動

千根部隊 及 五ヶ島 北東 空部隊ニ 益警言 戒ヲ 嚴ニ シツツ 急

速内地 轉進 準備ヲ 促進中 ナリ

第十航空艦隊

北東海軍航空隊
第十二航空艦隊輸送機隊

十島方面根據地隊

附屬

國後八丈(十日附除カレ)

笠戸占守擲提(十日附除カレ)

第五十一警備隊

第五十二警備隊

第五十三警備隊

第五十七警備隊

第三魚雷艇隊

占守通信隊

第十五特設輸送隊

第五氣象隊

第二十二二十三三十六魚雷調整班

聯 合 艦 隊							軍 隊 區 分 及 配 備
北 東 方 面 部 隊							
第 二 十 二 航 空 艦 隊							
十 島 防 衛 部 隊							
十 根		十 根		十 根			兵 力
快 鳳 丸		國 後 八 丈		第 十 一 魚 雷 調 整 班			配 備
第 十 一 魚 雷 調 整 班		第 十 二 魚 雷 調 整 班		第 十 三 魚 雷 調 整 班			
第 十 四 魚 雷 調 整 班		第 十 五 魚 雷 調 整 班		第 十 六 魚 雷 調 整 班			北 海 道
第 十 七 魚 雷 調 整 班		第 十 八 魚 雷 調 整 班		第 十 九 魚 雷 調 整 班			
第 十 一 輸 送 機 隊		十 島		十 島			之 要 任 務
十 島		十 島		十 島			
十 島		十 島		十 島			一 敵 攻 略 部 隊 機 動 部 隊 捕 提 擊 滅 二 北 方 面 敵 航 空 機 艦 輸 送 船 擊 滅 三 哨 戒 四 對 空 哨 戒 敵 水 艦 擊 滅 五 對 潛 哨 戒 及 敵 潛 水 艦 擊 滅 六 地 上 下 戰 協 力 七 航 空 基 地 設 營 協 力 管 理 整 頓
十 島		十 島		十 島			
十 島		十 島		十 島			一 地 上 及 海 面 防 備 二 海 上 交 通 保 護 三 敵 潛 掃 蕩 擊 滅 四 要 地 設 營 協 力
十 島		十 島		十 島			

隊

司 令 長 官

備 部 隊

司 令 官

第一四防空隊	第一四防空隊	第二防空隊	第九防空隊	日鳳丸
--------	--------	-------	-------	-----

令 官 所 定

五 運 輸 補 給
 六 通 信 謀 報

4990

功績調査部長殿

軍機

第十二航空艦隊機密第七號ノ六

自昭和二十年五月一日
至同年五月三十日

第十二航空艦隊戦時日誌

第十二航空艦隊司令部

- 一 經過
- 二 人員、現状
- 三 令達報告等
- 四 作戰經過概要

(目次)

(目次終)

自昭和二十年五月一日
至同年五月三十一日
第十二航空艦隊戦時日誌

一 経過

(一) 敵情

(1) 進攻速度、急揮ニ焦慮セル敵ハ我猛攻撃ニ大出血ヲ強要サレツツモ依然沖繩方面制空制海權ヲ確保シ向島上陸部隊ニ對スル増援補給ニ狂奔中ナリ

(2) 敵ハ北洋作戦ヲ千島方面防備強化ト解シ千島海域ノ解氷並ニ我對空對潜兵力ノ薄弱ニ乘ジ海空ヨリ厚戦部隊ニ對シ連續執拗ナル攻撃ヲ加ヘ北洋作戦阻止攪乱ニ努カメツツアリ

2 二十日夕刻敵ハ輕快艦艇數隻ヲ以テ榴鉢地区ニ來襲約二十數分ニ亘リ艦砲射撃ヲ加フルト共ニ同方面強

行偵察ヲ實施セシモ、如シ

三 我軍ノ状況

の聯合艦隊ハ飽々迄天一號作戰、完遂ヲ期シ指揮下航空部隊ノ全カヲ南西諸島方面ニ投入シ執強ナル航空作戰ヲ續行中ニシテ所在陸上部隊亦善謀奮戰驚嘆スルニ大戦果ヲ擧ゲアリ

四 海上護衛總隊ハ堅忍奮闘克ク敵ノ執拗ナル妨害ヲ排除シ日滿支ノ海上交通ノ確保ニ邁進中ナリ

五 作戰指導要領

の第十二航空艦隊司令部ハ依然十歳航空基地ニ在リテ全般作戰指導中特ニ

第十二航空艦隊兵力ノ大部ヲ擧ゲテ大警部隊ト協心戮力北洋作戰ノ完遂ニ努メアリ

2 決號陸上戦闘ヲ豫期シ第五方面軍ト緊密ナル連繫
 下銳意陸戦訓練ニ勵ムト共ニ決號航空作戦ニ備ヘ
 第十航空艦隊陸空千歳派遣隊訓練整備ニ對シ全
 幅協力ヒリ

(四) 五月中露方面敵潜出現回数及敵機來襲機數茲ニ被
 害戰果次ノ如シ

- 1 出現回数 延二十四回以上
- 2 來襲機數 B-24 B-25 B-34 計六十八機以上
- 3 戰果 撃墜二機 撃破四機
- 4 被害 沈没長和丸 吉野丸
 小破八丈

(四) 麾下部隊行動
 先月ニ引續キ在千島陸上部隊ハ内地方面ニ向ケ轉進續

艦隊区分
行中ナリ

第二十航空艦隊

區

附

属

千島方面根據地隊

北東海軍航空隊
第十二航空艦隊輸送機隊

- 第五十一警備隊
- 第五十二警備隊
- 第五十三警備隊
- 第五十七警備隊
- 第三魚雷艇隊
- 占守通信隊
- 第十五特設輸送隊
- 第五氣象隊
- 第二十二、二十三、三十三、三十六魚雷調整班

分

8990

軍隊區分及配備

艦 合 聯							區 分
面 方 東 北							指 揮 官
司 隊 艦 空 航 二 十 第							區 分
防 島 千							指 揮 官
根 千							兵 力
第 三 防 空 隊	第 九 防 空 隊	白 鳳 丸	千 根	第 五 氣 象 隊	第 三 皇 雷 雷 整 班	第 三 皇 雷 雷 整 班	北 東 空
司 根 千	千 歲	美 幌	三 澤	空 岡	千 歲	北 海 道	千 島
四 要 地 設 營 協 力	三 敵 潛 掃 蕩 擊 滅	二 海 上 交 通 保 護	一 地 上 絲 海 面 防 備	氣 象	七 航 空 基 地 設 營 協 力 管 理 整 備	六 地 上 作 戰 協 力	五 對 潛 哨 戒 及 敵 潛 水 艦 擊 滅
				三 哨 戒	四 對 空 哨 戒 敵 來 襲 機 擊 滅	二 四 方 面 敵 航 空 機 艦 艇 輸 送 船 擊 滅	一 敵 攻 略 部 隊 機 動 部 隊 捕 捉 擊 滅

0594

隊
隊 部
官 長 令
隊 部 備
官 令 司
第四防空隊
第五防空隊
定 所 官 令
六、通信諜報
五、運輸補給

軍機秘

海軍功績部部長 啟

第十二航空艦隊機密第七號ノ七

自昭和二十年六月一日
至同年六月三十日

第十二航空艦隊戰時日誌

第十二航空艦隊司令部

- 一、経過
- 二、人員ノ現状
- 三、令達報告等
- 四、参考
- 五、作戦経過概要

目次

(目次終)

一、経過

(1) 敵情

自昭和二十年六月一日
至昭和二十年六月三十日

戦時日誌

(一) 沖繩攻畧ニ成功セル敵ハ大規模ナル次期進攻作戰ヲ準備中ナルモノノ如ク中南部太平洋方面敵艦船並ニ航空機ノ蠢動種ニ活況ヲ呈シ來レリ

(二) 北部太平洋方面ニ於テハ未ダ敵ノ積極的策動ノ兆顯著ナラザルモ有力ナル潜水部隊ヲ以テ我海上交通攪乱ヲ企圖スルト共ニ頻ニ北海道方面要地偵察ヲ實施中ナルモノノ如シ
ス、マリアナ、硫黄島基地ノ敵大型機ハ東北方面ノ我軍

事施設茲ニ工業地帯ノ偵察ヲ企圖セルモノ、如クニ十
六日以降屢々北海道方面ニ來襲セリ

(ロ) 我軍ノ狀況

- (一) 聯合艦隊ハ一部航空兵力ヲ以テ天一號作戰ヲ續行
スルト共ニ決號作戰ニ備ヘ銳意整備訓練中
- (二) 敵ノ日滿支海上交通破壊作戰ハ愈々熾烈化シ敵潛ノ
犠牲ヲモ顧ミザル活躍ハ其ノ新戦法、新兵器ノ活用
ト相俟チ味方ノ損害輕視スベカラザルモノアリテ今ヤ
情勢ハ日本海域ニ於ケル對潛作戰ノ成否ガ眞ニ帝國
ノ存立ヲ左右セントスルノ重大段階ニ到達セリ
- (ハ) 作戰指導要領
- (一) 第十二航空艦隊司令部ハ千歲航空基地ニ在リテ全
般作戰指導中特ニ

1. 對ソ警言戒
 2. 道内遊休資材ノ急速戰力化
 3. 北洋作戰協力
 ニ努ム

(二) 六月中北海道及千島方面敵機ノ來襲狀況茲ニ戰果被害

1. 出現回数

北海道方面

千島方面

2. 來襲機數

北海道方面

千島方面

3. 戰果

B-24 B-29

B-25

B-35

Pf-1

計九機
計七十八機以上

延五回
延二十四回以上

4. 擊擊
被擊
害破

B-29 一機
B-24 一機
B-24 二機
B-25 一機
B-25 一機
B-24 一機
P-1 三機

日魯 独行船

沈没 一隻

小破 二隻

(三) 六月中北海道及千島方面敵潛出現狀況之戰果被害

(四) 出現回數 延六十五隻以上

(四) 豫想實隻數

上旬 五隻
中旬 九隻
下旬 八隻

程度

2. 戰果

一隻以上

3. 被害

(A B C) 船合計

沈没

博愛丸
藏玉丸
永城丸
神津丸
繁進丸
博洋丸
博山丸
青山丸

損傷

紅海丸、第二大原丸、第三神榮丸、楠丸
 第七三駆潜特務艇、第二〇九駆潜特務艇

(四) 六月中北海道及千島(陸上)方面敵艦砲射撃部隊
 (含潜水艦)出現状況茲ニ戦果被害

部	隊	隻数	目	標	射撃時間	戦果被害
輕快艦艇		七隻	松輪島		三十分	ナシ若干
潜水艦	(隻獲)		網走灣斜里附近		不明	ナシナシ

(五) 當艦隊戦時編成中主ナル変更次ノ如シ
 一、第一〇四戦隊ヲ大警言部隊ヨリ除キ12AFニ編入サル
 二、第三魚雷艇隊 51KG 52KG 53KG 57KG 占通、第十五特設輸送隊
 ヲ千島根據地隊ヨリ除キ大警言部隊ニ編入サル
 三、千島根據地隊ヲ戦時編制ヨリ除カル(解隊)

二十	第		北東海軍航空隊
	第	第十八	航空艦隊輸送機隊
	第	第五十一	警備隊
	第	五十二	〃
	第	五十三	〃
	第	十八日附	RAFヨ

(木) 艦隊区分

区

分

(二) 麾下部隊ノ主ナル行動概要

1. (A) 4根部隊ハ概ネ内地轉進ヲ完了シ十八日以降大

警備部隊ニ編入サレタリ

(B) 残余ノ4根部隊ハ轉進準備ヲ完了シ待機中

2. 爾余ノ各隊ハ夫々從來ノ任務續行シアリ

E090

支隊の任務

(一) 軍隊区分及配備

聯	区分	指揮官	区分指揮官	兵力	配備	主要任務
北						
第						
12AF	北東空				千島及北海道	敵攻界部隊機動部隊 捕提撃滅 AG方面敵航空機艦艇輸送船撃滅

航空艦隊	
附屬	千島方面根據地隊 (十八日附解隊)
第一〇四戰隊 (十八日附大警部隊より編入)	第五十七警備隊 第三真番艇隊 占守通信隊 第十五特設輸送隊
國後福江	占守 擇提 八丈
第五九氣象隊 十八日附解隊	リ除キ大警備部隊ニ編入
第二十三(二十三)三三三六真雷調整班	

合 艦 隊			
東 方 面 部 隊			
二十 二 航 空 艦 隊 司 令 官			
千 島 防 備 部 隊 (八十 日 附 解 隊)			
千 根 司 令 官			
千 根 白 鳳 丸 八十九 防 空 隊 二一 防 空 隊 一四 防 空 隊 一四 防 空 隊	第 五 氣 象 隊	第 三 十 六 〃 第 三 十 三 〃 第 三 十 二 〃 第 三 十 一 〃 (百 附 解 隊)	第 二 十 〃 調 (百 附 解 隊)
	千 歲	美 幌 三 澤 片 岡	千 歲
六 通 信 牒 報 五 運 輸 補 給 四 要 地 設 営 協 力 三 敵 潛 掃 蕩 擊 滅 二 海 上 交 通 保 護 一 地 上 空 海 面 防 備	氣 象	七 航 空 基 地 設 営 協 力 管 理 整 備 六 地 上 作 戰 協 力 五 對 潛 哨 戒 及 敵 潛 水 艦 擊 滅 四 對 空 哨 戒 敵 表 襲 機 擊 滅 三 哨 戒	